



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 株式会社 中広 上場取引所 東・名
コード番号 2139 URL <https://www.chuco.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 斉
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 倉橋 誠一郎 TEL 058-247-2511
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,057	15.4	78	—	88	—	45	—
2026年3月期第1四半期	2,648	△2.3	△27	—	△23	—	△37	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 44百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △29百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	6.65	—
2026年3月期第1四半期	△5.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	5,917	2,245	36.1
2026年3月期	5,527	2,281	39.3

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 2,133百万円 2026年3月期 2,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	7.0	490	26.7	500	24.6	300	59.3	44.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	7,044,000株	2026年3月期	7,044,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	243,976株	2026年3月期	243,976株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	6,800,024株	2026年3月期1Q	6,800,024株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(収益認識に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは「広告業を通して地域社会への貢献」を企業理念としており、VC加盟社※とともに、地域を元気にする広告情報満載の全戸配布型（ポスティング型）フリーメディア、ハッピーメディア®『地域みっちゃく生活情報誌®』を日本全国5,000万世帯に直接配布することを、中長期の経営目標としております。

当社グループは、第50期直前の今事業年度（第49期）を、次の50年、つまり100年企業となるための転換点・起点として位置づけ、今期スローガンを「50X（フィフティー・エックス）」としました。第47期「Data Driven」、第48期「Data Driven Innovation」で培った日本最大のポスティング広告にかかる実践知により進化した「ハイブリッド広告2.0」や、更なる広告価値の向上と業務効率化のドライバーとなる「AI Driven」の推進により、「地域データインフラ企業」として本質的なトランスフォーメーション（X）を進めてまいります。

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）は、フリーメディア事業において、紙メディアとデジタルメディア双方のメリットを融合したクロスメディア型商品プランの拡充など、ネットメディアと連携した広告商品の提案を強化するとともに、セールスプロモーション事業においても、社会的ニーズが高まっているWebマーケティング支援にかかるネット広告・ネットメディアの営業を推進しました。また、地域経済活性化や課題解決にかかる諸施策について、行政との協働や支援活動に継続的かつ積極的に取り組みました。2025年7月に連結子会社化した株式会社中広ワークイン（以下、「中広ワークイン」という）は、主力商材の求人メディア「Workin」、同ウェブ版「Workin.jp」及び採用管理システム(ATS)「TalentClip」の拡販に関して順調にグループシナジーが発揮されており、グループ全社においても求人活動や就業支援の取り組みが強化されております。

このような状況のもと、当第1四半期は、中広ワークインの新たな寄与に加えて、首都圏・東北地域を主とする株式会社中広メディアソリューションズのネット広告事業売上が前年同期比で倍増するなどした結果、売上高は3,057,179千円（前年同期比15.4%の増加）と、第1四半期としては初めて30億円台乗せとなりました。

利益面では、フリーメディア事業におけるエリア戦略やCSチームの強化と業務効率化、ハイブリッド広告の進展、自グループATS拡販などによる原価率の低下（54.8%⇒51.5%）により、売上総利益は1,481,374千円と、283,300千円の増加（前年同期比23.6%増）となりました。また、人件費が前年同期比16.6%の増加となったものの、販売費及び一般管理費は177,622千円の増加（前年同期比14.5%増）にとどまったことから、営業利益は78,044千円（前年同期は27,632千円の営業損失）、経常利益は88,430千円（前年同期は23,860千円の経常損失）と、2期ぶりの黒字化及び、第1四半期として過去最高利益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、45,247千円（前年同期は37,393千円の同損失）となりました。

※ VC契約とは

Voluntary Chain（ボランティア・チェーン）契約。お互いの経営を尊重し発行元責任を持ちつつ、全世代の読者に安心・安全な各戸配布型無料情報誌を、ハッピーメディア®『地域みっちゃく生活情報誌®』ブランドで発行します。同フリーメディアは、地域密着、厳格な掲載基準、正確な配布部数、レスポンス重視の4つのこだわりを持っており、地域に不可欠なプッシュ型広告インフラとなることを目指しています。

なお、当社グループは、「メディア広告事業」の単一セグメントのため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における総資産は、5,917,801千円（前連結会計年度末から390,463千円の増加）となりました。これは主に受取手形及び売掛金が115,744千円減少したものの、現金及び預金が548,153千円増加したためです。

負債は、3,672,720千円（前連結会計年度末から427,340千円の増加）となりました。これは主に、短期借入金230,000千円及び未払法人税等が113,517千円減少したものの、預り金が741,821千円増加したためです。

純資産は、2,245,080千円（前連結会計年度末から36,376千円の減少）となりました。これは主に利益剰余金が36,352千円減少したためです。

なお、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は36.1%です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期業績予想につきましては、2026年5月8日付で公表いたしました「2027年3月期の連結業績予想」に変更はありません。今後の業績の動向を踏まえ業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,077,765	2,625,918
受取手形及び売掛金	1,627,993	1,512,248
棚卸資産	21,300	21,793
その他	179,266	184,503
貸倒引当金	△27,575	△26,770
流動資産合計	3,878,749	4,317,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	309,224	305,455
土地	428,193	428,193
その他（純額）	76,953	80,586
有形固定資産合計	814,372	814,235
無形固定資産		
のれん	49,506	42,975
その他	119,772	107,458
無形固定資産合計	169,279	150,434
投資その他の資産		
投資有価証券	223,531	217,521
関係会社株式	25,422	27,210
差入保証金	244,031	232,275
繰延税金資産	60,459	48,632
その他	223,685	222,173
貸倒引当金	△112,193	△112,376
投資その他の資産合計	664,936	635,437
固定資産合計	1,648,588	1,600,106
資産合計	5,527,337	5,917,801

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	915,820	877,598
短期借入金	640,000	410,000
1年内返済予定の長期借入金	162,769	155,552
未払法人税等	141,400	27,883
預り金	47,862	789,683
賞与引当金	132,766	204,504
その他	531,535	550,639
流動負債合計	2,572,154	3,015,862
固定負債		
長期借入金	462,308	454,269
退職給付に係る負債	79,046	77,525
資産除去債務	53,055	50,177
役員退職慰労引当金	28,071	28,841
その他	50,744	46,044
固定負債合計	673,225	656,858
負債合計	3,245,380	3,672,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	404,300	404,300
資本剰余金	63,399	63,399
利益剰余金	1,659,845	1,623,493
自己株式	△15,824	△15,824
株主資本合計	2,111,720	2,075,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,638	58,361
その他の包括利益累計額合計	62,638	58,361
非支配株主持分	107,599	111,350
純資産合計	2,281,957	2,245,080
負債純資産合計	5,527,337	5,917,801

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,648,530	3,057,179
売上原価	1,450,456	1,575,805
売上総利益	1,198,074	1,481,374
販売費及び一般管理費	1,225,707	1,403,329
営業利益又は営業損失(△)	△27,632	78,044
営業外収益		
受取利息	777	1,820
受取配当金	1,247	1,502
受取賃貸料	3,709	3,713
持分法による投資利益	851	1,787
その他	3,588	6,467
営業外収益合計	10,174	15,292
営業外費用		
支払利息	2,425	3,135
支払手数料	1,567	1,096
その他	2,409	673
営業外費用合計	6,402	4,906
経常利益又は経常損失(△)	△23,860	88,430
特別損失		
固定資産除却損	2,601	3,435
特別損失合計	2,601	3,435
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△26,462	84,995
法人税、住民税及び事業税	11,370	22,434
法人税等調整額	32	13,560
法人税等合計	11,402	35,995
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,864	48,999
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△471	3,751
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△37,393	45,247

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,864	48,999
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,115	△4,276
その他の包括利益合計	8,115	△4,276
四半期包括利益	△29,749	44,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,278	40,971
非支配株主に係る四半期包括利益	△471	3,751

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社グループは「メディア広告事業」単一セグメントであることから、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

当社グループは「メディア広告事業」単一セグメントであることから、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	19,905千円	25,919千円
のれんの償却額	5,125千円	6,530千円

(収益認識に関する注記)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
自社メディア広告	1,586,465千円	1,733,263千円
セールスプロモーション等	1,003,882千円	1,283,199千円
その他	58,183千円	40,717千円
顧客との契約から生じる収益	2,648,530千円	3,057,179千円
外部顧客への売上高	2,648,530千円	3,057,179千円